基本項目2 町民との関わりを重視した行政の推進

重点事項2 町民との協働の推進

No.	取り組み項目							
	①審議会等への町民参加の推進							
	現状と 課題		現状及び目標					
13		町の審議会等の中で公募委員が定員割れをしているものがあるが、町自治基本条例では、町民における町政への積極的な参 画が求められている。	〈現状〉平成22年度 公募数(40人)に対する参加数(34人)の割合 85.0% 公募対象の審議会等委員数(198人)に対する 公募委員参加数(34人)の割合 17.2% 〈目標1〉公募数に対する参加数の割合(左)					
•	取り組み の内容	公募の定員を満たしていない審議会等に関して、審議の内容や生活にどう関わるかなどの情報提供や説明を町民に向けて行 うなどにより、町政への関心を高めてもらい、参画を促す。	〈目標2〉 公募対象の審議会等委員数に対する公募委員参加数の割合(右) 平成24年度:92.5%(37人/40人)・18.7%(37人/198人) 平成25年度:100%(40人/40人)・20.2%(198人/40人) 平成26年度:100%(40人/40人)・20.2%(198人/40人)					
			主管課	協働文化推進課				
			関係課	全課				

_	「ジュールと		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度実績	
	スケ ジュール		町民に広く周知する手法の整備					
		目標	TO THE WAY TO SERVE WILL			i	公募数に対する	
		 実績	広報紙、HPのほか、町内の掲示について エ夫した	次回の広報(12月か1月)に向け掲載方 法を検討	広報1月号に検討内容を踏まえ、掲載を実 施	広報1月号に検討内容を踏まえ、掲載を実 施	参加数の割合 82.9% (34人/41人)	口 予定以上
-				町民に分かりやすく、親しみやすいタイト	広報内容は単に公募委員募集とせずに分	4月広報での公募委員募集についても、		□ 予定どお
			掲示		小論人の提出を、ナーマに対する 私の考	小論文提出はテーマに対する「私の考え」 の提出とした。	議会等委員数 に対する公募委	
24 年 度	実施内容		公募数(公募定員)に対する参加数(就任 委員数)の割合85.0%(34人/40人)	委員数)の割合85.7%(36人/42人)	え」の提出とし、応募しやすくなるようにし た。		員参加数の割合 17.3% (34人/197人)	
文					公募数(公募定員)に対する参加数(就任			
	7 O // T-11/		, # d o l		委員数)の割合85.7%(36人/42人)			
	その他取り	祖の事項寺	公募時の小論文のテーマや文字数の変更	により、心券しやすいものにするため合誄/ 	╰側さかけを付つた。 			
	次年度に向	可けた課題		発信や、募集時に審議会等の所管課が「公 、満たされるよう、規則の見直しについて検討	-募の町民からどのような意見を聴きたいのか 対を進める必要がある。	い」を明確にして伝えていくことが必要である	0	
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度実績	進捗状況
		目標			広報内容の検討	広報1月号で公募委員についての啓発記 事掲載(特集予定)		
			町民に広く情報発信・周知する手法の検 討継続・実施					
	スケ		寒川町審議会等の委員の公募に関する	見直し内容				
	ジュール		規則の見直し検討 →	確認 規則改正	改正した制度の実施	 	- 小草物に対する	
		実績	寒川町審議会等の委員の公募に関する 規則について見直しを検討	寒川町審議会等の委員の公募に関する 規則の再任規定について見直しを行っ た。	広報内容の検討・寒川町審議会等の公募 委員の選考に関する規則の改正を踏ま え、内規を制定した。	広報の特集で公募委員について周知を実施	· 公募数に対する 参加数の割合 82.1% (32人/39人)	□ 予定以上
-	l		近隣市町(藤沢市・茅ヶ崎市・平塚市・海 老名市・大磯町・二宮町)の公墓委員の再		広報1月1日号の特集(6ページ)による啓 発に向け、広報担当課と内容について協	i	公募対象の審 議会等委員数	□ 予定どれ
25			任に関する状況を調査。公募委員の再任		議、公募委員(2名)や、まちづくり推進会議会長からのコメントなどの情報収集を行い	はなぜ必要なのか」「公募委員の役割・公	に対する公募委	■ 遅れ
年 度	実施内容			議会における再任規定について見直 こ) 公募数(公募定員)に対する参加数(就任 数(公募定員)に対する参加数(就任 数)の割合82.9%(34人/41人)	準備を行った。また、寒川町審議会等の委 インタビューなどを掲載し、広く町民に周知員の公募に関する規則の改正を踏まえ、 を行った。	合 17.5% (32人/183人)		
					寒川町審議会等の公募委員の選考に関す)選考に関す 応募時の小 公募数(公募定員)に対する参加数(就任 考え」とし、字 委員数)の割合82.1%(32人/39人)		
			委員数)の割合82.9%(34人/41人)					
					公募数(公募定員)に対する参加数(就任 委員数)の割合85.3%(35人/41人)			
	その他取り	組み事項等	○近隣市町(藤沢市・茅ヶ崎市・平塚市・海 ○子育て世代の参加を促す保育対応など ○今後のまちづくり推進会議からの意見等					
•	今後の課題寒川町審議会等の委員の公募に関する規則			則を改正したことによる公募委員の応募状	況を踏まえ、町民へのさらなる応募の促進を	図る必要がある。		
		第1四半期		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度実績	進捗状況
				各審議会等の公募委員募集時におい	・ ヽて、広報紙やチラシで会議の内容や応募要件の ・	・ 変更についても分かりやすく紹介を行う ・		
		目標						
	スケ			公募委		服から応募者の がるような広報を検討		
						1	公募数に対する 参加数の割合	
	ジュール			子育て世代の参加を促進する手段について	! 研究▪検討		79.5% (31人/39人)	□ 予定以_
26	-						公募対象の審	□ 予定どお
年		実績		広報7月号の公募委員募集時に1Pを使い広報を実施。その会議の概要なども書き加えて、分かりやすい広報を行った。	工夫をするよう庁内通知により各課等へ周	意見を参考として、「あなたの意見や発想	議会等委員数 に対する公募委 員参加数の割 合	■ 遅れ
			広報での募集時における分かりやすい方 法について検討を実施	現役公募委員及び公募委員経験者に対 するアンケート案を検討	平成24~25年度の退任公募委員及び平成26年度現役公募委員を対象にアンケー	アンケート結果を集計し、今後の取り組み	15.9% (31人/195人)	
			公募数(公募定員)に対する参加数(就任 委員数)の割合77.5%(31人/40人)			公募数(公募定員)に対する参加数(就任 委員数)の割合79.5%(31人/39人)		
					委員数)の割合79.5%(31人/39人)			